

(令和4) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (大 塚) 児 童 館

	活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
基 本 活 動	(3) てづくり工作	13		13	300	2	20		1		2		338	毎月1回実施。季節にちなんだ工作など、テーマに沿ってつくる。	子どもたちの集中力・創造力や器用さを身につけることができた。子どもたちの意欲や個性が引き出せた。
	(3) みんなあそび	12		16	264	8	22						310	毎月遊びを考え実施。参加者でひとつのテーマに沿って遊ぶ。	普段一緒に遊ぶメンバーとは違う、異年齢集団の中で遊ぶことにより、連帯感・仲間意識がめばえた。
	(3) けん玉検定	12		3	70		6				4		83	毎月15日にけん玉協会の検定表にそって、けん玉検定を行う。	けん玉に興味を持ち、検定に合格しようと一生懸命、技を練習する子どもたちの主体的な姿がみられた。
	(2) あそびのひろば「ペットボトル工作」	1		1	40		3						44	ペットボトルを使って、エコにできる工作をして遊ぶ。	身近なものも工夫しだいで、いろいろな遊びができることを遊びを通して学ぶことができた。
	(5) 1日消防士体験・消火訓練	1	10	1	14	1	1		5		1	1	34	山科消防署消防士指導のもと、乳幼児親子や小学生がホースを伸ばし、放水を行う消火体験を行う。前半は小学生向けに防火についての講義を行っていただいた。消防車の見学。	児童たちが防火についての知識を得ることができた。また、普段は近くで見られない消防車と記念撮影をしたり、放水など貴重な体験をすることができた。
	(3) わくわく夏祭り	1	22	20	68	11	8		22		8	4	163	児童館内に射的コーナー、おばけやしきなどの遊びのコーナーを展開した。	昨年度に引き続き、小学生もたくさん参加。メインのお化け屋敷はとても好評だった。にこの森保育園との連携も行ったことで、乳幼児さんの参加者も増えた。
	(3) ハロウィンパレード	1	24	28	17	4	2		28		1	5	109	昨年度に引き続き仮装をして大塚児童館の周辺のパレードを行った。館内には写真撮影コーナーを設け、記念撮影を行った。	地域の方がとても楽しみにされ、多くの参加があった。乳幼児さんと小学生以上を分けたことで、年齢にあった取り組みをすることができた。
	(3) おおつかクリスマスパーティー2022	1	28	42	19	9	2		25	5	2	9	141	児童館内に工作コーナー、ゲームコーナーを展開。また事前に利用者の方から動画を募集し、シアターコーナーで上映した。サンタからプレゼントをもらった。	どのコーナーも大変好評であった。また、高学年スタッフも発表を行い自信につながった。昨年度の反省を活かし、コーナーも上手に分散することができた。
	(3) おおつかこひろば	1	24	24	20	24	5		39			3	139	地域子育て支援ステーション事業として、大塚学区自治会館にて様々なコーナー遊びを展開。また、音楽療法士を招き、音遊びや大型絵本の読み聞かせを行った。	雨の中であるが、たくさんのお乳幼児親子や小学生が参加した。参加者数に対しては、スペースが狭かった。次年度以降の課題である。
	(3) 第11回子ども将棋交流大会	1			2	1	1						4	連盟と洛和会の共催でウェブを通じての将棋大会が昨年に引き続き開催された。	今年度もリモート開催。館内での予選会や練習試合なども行い、館内で将棋熱が高まった。参加した児童にとっては勝ち負け以上の良い経験ができた。
(3) 第11回子ども将棋交流大会練習試合	5			10		1						11	将棋大会に向けて、他館の出場者とWEB上で練習試合を行った。	慣れないパソコン操作や実際の将棋盤で対戦するのは違う感覚を本番前に感じることができ、よいお試しの機会となった。	
合 計	49	108	148	824	60	71	0	120	5	14	26	1376			
進 活															
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
子ども育成機能 合 計		49	108	148	824	60	71	0	120	5	14	26	467		

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和4) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (大塚) 児 童 館

活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題	
		乳幼児		小1～3年		小4～6年		中高生		大人				合計
		自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			
(1) ①「おやこっぴー火曜日クラス」	27	130					1	138	34	10		313	毎週火曜日に設定遊びを行う。登録制で実施。(第5週は除く)対象年齢はおおむね10か月～就学前。乳幼児とその保護者を対象に、体操・歌・手遊び・お出かけ・工作などの設定あそびを実施。季節感を取り入れたイベントも行う。	5月時点では参加者数も少なかったが、徐々に増えていき、後半は安定した参加者数となったため、お母さん同志でのコミュニケーションも増え、なかなか雰囲気を楽しめる活動を行うことができた。
(1) ①「おやこっぴー水曜日クラス」	21	74						78		5		157	毎週水曜日に設定遊びを行う。登録制で実施。(第5週は除く)対象年齢は0歳～おおむね10か月。乳幼児とその保護者を対象に、体操・歌・手遊び・お出かけ・工作などの設定あそびを実施。季節感を取り入れたイベントも行う。	数自体は多くないが、安定したメンバーが参加された。少人数の中、穏やかに活動を行うことができ、この月齢の子どもたちにとって、ちょうどよかったかもしれない。
(1) ①「おやこっぴー水曜日クラス」	28	88						99	5	5		197	毎週水曜日に設定。登録制で実施。対象年齢は0歳～就学前。うた・手遊び・触れ合いあそび・体操などを行う。今年度は絵本の紹介やパネルシアターや母親向け工作などを取り入れた。	毎月定例の内容とすることで、保護者の方たちにも内容が分かりやすくなった。にこの森保育園と連携して行うにこころばも続けて行ってきたい。
(1) ②あそびの広場	4	6						6				12	乳幼児クラブの無い午前中に、遊戯室の遊具を使って自由遊びをしてもらえる時間を設ける。	家庭での保育だけでは十分に遊びきれない親子にとって、普段とは違う環境でのびのびと遊ぶことで、親子ともストレスの解消につながった様子であった。
(1) ②「0歳児教室」	4	14						18				32	回数限定の0歳児親子の子育て教室。子育ての仲間づくりや悩みを共有、相談する場として設定している。1回目は「ふれあいあそび」、2回目は「おもちゃづくり」、3回目は「離乳食のお話」、4回目は「ベビーマッサージ」を行った。	0歳児教室には初めて子育てをするお母さんも多く参加され、育児への不安解消につながる当講座は利用者の方からも関心が望まれている。特に、離乳食の意義やベビーマッサージなど講師を招いての講座はニーズが高く、次年度も継続して行っていく必要がある。
												0		
合 計	84	312	0					66		5		711		
(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路			件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等			件数
	乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生	10 3 1	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他			14	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他			4 4 6	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他			1 12
	件数 計	14	-			14	-			14	-			13
(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容			育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題					
	「母親クラブ」													
	親子yoga	乳幼児親子8組	月1回当館遊戯室にて、講師指導のもと実施。乳幼児親子でyogaを楽しむ。			元学童クラブ児童保護者の社会復帰を支援。おもちゃなど機具の貸し出し、施設を提供する。			参加する親子の絆を深めると共に産後の育児ストレス解消やリラクゼーションの場となった。参加者の減少もみられるので、次年度は乳幼児クラブの中などで、広報活動を強化する。					
子育てアート教室	乳幼児親子8組	月1回当館遊戯室にて、乳幼児親子同士で制作活動を楽しむ。			おもちゃなど機具の貸し出し、施設を提供する。製作の工程が難しい際は幼児さんの保育を行う。			9月から新規に開講した教室である。楽しみにされている方も多く、お話をされながら雰囲気よく活動がされている。今年度は動きの少ない乳児さんが多く、制作しやすかったが、動きの多くなると、活動や保育内容の検討が必要である。						
(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容			成 果 と 課 題								
	子育て講演会 「子どもとの楽しいかわり」	1回	学童連盟から岡崎先生(言語聴覚士)に来館いただき、乳幼児親子に向けて子育ての中での困りごとについて、講演をしていただいたり、相談ができる場を設ける。			お住まいは児童館から離れているが、はぐくみだりを見て連絡をくださる方もいらした。参加者の方全員、講師の先生に熱心にお話を聞いておられ、子育ての不安解消につながった。次年度も継続して開催したい。								

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動](2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域	基	活動名	x	主催	参加人数					連携団体	成果と課題					
					乳幼児	小1～3年		小4～6年				中学生	大人	合計		
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ							
(1) 地域住民との交流を促進する活動		地域実践活動	56	大塚児童館 東総合支援学校						72	52	124	東総合支援学校	社会性を学ぶため清掃活動、園芸活動を中心に職員や地域住民とかかわり、実践的な場の提供ができた。東総合支援学校の学生さんたちが、社会関係性をまなぶ場として、貢献できた。農作物を育てる茶園は「地域連携実践コーナー」として、お披露目会を行い、地域の方と協力しながら、持続可能な「連携を象徴する場」として、整備を進めている。		
		合計	56	-	0	0	0	0	0	72	52	124				
		活動内容				活動人数				成果と課題						
						中学生	大学生	大人	合計							
福祉	本	(2) ボランティア活動の推進		ボランティアの組織化と支援の連携 随時										介助ボランティアさんと支援を要する児童について、常日頃から意見交換をする場を持ち、共通理解、共通認識を様々な学校から、乳幼児や児童の様子について学びに来られる。児童館という施設の特性について知ってもらうことができた。		
				実習生受け入れ (厚生学校看護学科・助産学科、橘大学心理学科) 27回			73	7	80						橘大学からキャリアゼミの一環として大学生が来館。小学生児童の夏休みの宿題などについて見てもらう。	
				学習支援事業 5回			10		10							音羽中学校から4日間、2年生の生徒さんが実習に来られる。児童館という施設をしってもらう良い機会となった。
				音羽中学校 生き方探求 チャレンジ体験 4日間			12			12						
				合計				12	83	7	102					
促進	機	動		連携団体等	連携内容					成果と課題						
				大塚学区自治連合・各種団体	・各種団体児童館行事へ参画、協力。運営協力委員会などの打ち合わせ。					児童館自体の役割と機能、活動状況について、再確認していただいた。今後もより良い関係づくり、連携をしたい						
				大塚学区社会福祉協議会	・毎月児童館だよりを配布。児童館の運営にも協力いただいた。					地域の発展に協力できた。						
				各小学校・諸機関	・子どもの登下校、交通安全、日常生活における情報交換、催し物、行事に参加。毎月児童館だよりを配布。					各学校とは随時連携を図り、関係を深めることができた。今後もより良い関係づくり、連携をしたい。						
				大塚学区主任児童委員	・毎月児童館だより配布。毎月会議で児童館や地域の情報交換を行った。					児童館自体の役割と機能、活動状況について、再確認していただいた。今後もより良い関係づくり、連携をしたい。						
				大塚消防分団・山科消防署	・乳幼児親子や小学生に向け防災&避難訓練実施。					取組みを依頼することにより、児童館を知ってもらえる機会となり関係性が深まった。						
				山科区社会福祉協議会	・児童・生徒の社会福祉への推進。毎月児童館だより配布。 ・ボランティア保険登録					社会福祉教育推進に努めたい。						
				洛和会京都音楽療法研究センター	・子育て講演会や大型行事・イベントに参画、協力。					連携スタートから今年で7年目。音楽療法士とのコラボ企画は毎回大好評である。今後も良いイベントを企画し、より連携を図りたい。						
				音羽中学校	・生き方探求チャレンジ体験学生受け入れ。毎月児童館だより配布。					今後もより良い関係づくり、連携をしたい。						
				東総合支援学校	・地域実践活動や共催事業を通じて、相互支援を行なう。					様々な事業を通じて、地域交流を深め体験の幅が広がった。地域関係機関と交流を深め、総合の発展に貢献することができた。						
				山科区役所保健福祉センター子どもはぐくみ室	・地域子育て支援ステーションの会議に出席、合同行事参画。ポスター、チラシ、おたより、情報交換。山科学区での地域子育て支援に貢献できた。					常に連携をとり、子ども育成において共に取り組めた。						
				鏡山保育所	・子育て講演会・講座打ち合わせ、協働、情報交換。毎月おたより交換。					地域子育て拠点事業協力を得て充実した子育て講演会、講座、ひろばを計画した。また広報物・情報交換により密な連携が図れた。						
				ヴェインテ	・地域子育て支援ステーション事業についての連携。情報交換。					意見交換や情報共有など連携ができた。今後も連携を図りたい。						
				この森保育園	・地域子育て支援ステーション事業についての連携。情報交換。					意見交換や情報共有など連携ができた。今後も連携を図りたい。						
			(3) 地域との連携を促進する活動		山科小山児童園	・地域子育て支援ステーション事業についての連携。情報交換。					意見交換や情報共有など連携ができた。今後も連携を図りたい。					
	若草保育園	・地域子育て支援ステーション事業についての連携。情報交換。					意見交換や情報共有など連携ができた。今後も連携を図りたい。									
	ロマンライン託児所	・地域子育て支援ステーション事業についての連携。情報交換。					意見交換や情報共有など連携ができた。今後も連携を図りたい。									
	児童相談所	・被虐待児童の経過観察・見守り及び支援					被虐待児童の支援に向けての連携及び一時保護の実施									

地	基本活動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
			大塚児童館運営協会の会		大塚学区自治連合会 大塚学区社協 大塚学区民生協力委員 大塚小学校 校長 他		年3回	<ul style="list-style-type: none"> 児童館運営の方向性 児童館事業や行事の告知協力依頼 情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事業に協力いただき取組みを通じて関係が深まった。 広報活動を充実させる。 広報誌を発行してステーション事業の啓発と事業内容の報告を行なった。
域	福祉促進	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)		成果と課題
			「おおつかっこひろば」会場提供		民生協力委員研修会		大塚学区民生協力委員会		大塚地域で民生協力委員の方がどのように、活動しているのか見学された。今後も協力できる部分は積極的に協力したい。
能	推進活動	(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題	
			児童館満足度調査アンケート	利用者のニーズの把握	児童館利用者	児童館	無記名アンケート	児童館利用者の率直な意見を調査し、事業を見直し新たな展開を行なう。	
			学童クラブアンケート	利用者のニーズの把握	学童クラブ保護者・児童	児童館	無記名アンケート		



	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題	
広 報 活 動	児童館だより 「おおつかじどうかんだより」	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館利用者 ・学童クラブ児童 ・乳幼児クラブ保護者 ・地域住民 ・山科・醍醐地区の児童館 ・山科区はぐくみ室 ・山科区保健センター ・鏡山保育所 ・大塚学区社会福祉協議会 ・民生協力委員 ・京都市児童館学童連盟 ・大塚小学校・音羽中学校 	来館者配布 ホームページに掲載 学童クラブ児童配布 町内回覧 児童館外玄関掲示 関連各諸機関郵送	児童館月刊行事予定 子どもの様子など	ホームページに掲載したり、月の行事を分かりやすく表示したりすることで、人気行事への参加を促すことができた。	
	「一般行事ポスター」 子育て講演会、0歳児教室 母親クラブ（親子ヨガ・子育て アート教室）、ステーション事 業、館行事などのポスター、チ ラシ	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館利用者 ・民生協力委員 ・乳幼児クラブ保護者 ・山科区はぐくみ室 ・山科区保健センター ・山科醍醐地域小中高等学校12校 	館内・玄関に掲示 山科区はぐくみ室へ配布 にこの森保育園に配布・掲示 民生協力委員へ配布 各町内掲示板に掲示 ホームページに掲載 学童クラブ児童に配布	子育て講演会、0歳児教室、母親クラブ ステーション事業 館行事の詳細案内や募集	より分かりやすく行事への参加者を募ることができた。	
	京都市の児童館ホームページ 「おおつかじどうかん日記」 のページ	随時	ホームページをご覧いただける すべての方	ホームページに掲載	日々の児童館の様子（乳幼児クラブ・小学生）をブログ形式で掲載している。	HP更新のシステムの不具合もあり、更新したものが消えることもあったが、定期的に更新して様子をお伝えすることができた。	